

綿畑づくり（4月16日）の活動報告

4月16日に鹿背山で綿畑づくりを行いました。参加者はこども8名、保護者4名、サポートー3名の計15名でした。

予定地は先日からの雨で草がよく伸びていたので、まずは草引きから。テントウムシやカエルが飛び出し、そちらを追いかけるのが忙しい子もいました。

次に鍬やシャベルで土おこし。大きな尖ったシャベルがなくてあまり深く掘り返しきれども、なんとか表面の根は断ち切ることができました。

タケノコは不作なのと、やはり竹林の朽木が危ないので今回はあきらめて、ベースキャンプでフィールドビンゴをしました。

今まで春に行くことがなかったので、今回初めて満開のガマズミやブルーベリーの花を見ることが出来ました。

最後に、せっかく頑張ってくれたのにタケノコもないのは残念なので、みんなの庭（昨年綿畑をした場所）に生えたお茶の新芽を使ったカップケーキをふるまいました。



発足式・茶摘み（5月7日）の活動報告

5月7日（日）、発足式と緑茶づくりをしました。

参加者はこども10人、保護者3人、サポーターは新高校生サポーター1人を含む4人、事務局3人の合計20人でした。

あいにくの雨の中の茶摘みとなり、かさを差しながらがんばって茶摘みをしました。

雨に洗われた新緑の葉はとてもきれいでした。

発足式では、新市長をお迎えして、昨年多く参加したこどもたちへの表彰などを行いました。いよいよ今年度の活動の始まりです。

発足式の後は、摘んだお茶の葉で、緑茶づくり。レンジで殺青した葉をホットプレートで温めながら揉んで水分を絞り出す作業を1時間ほど。簡単そうに見えて、繰り返しの作業は大変で、みんなが少々疲れてきた頃、あたりに新茶のよい香りが広がってきました。香りに誘われて？谷口市長が再び様子を見に来てくれたので、作ったお茶と地元の柿ようかんと一緒に味わってもらうことができました。

また、発足式と緑茶づくりの様子はKCN京都にも撮影してもらい、5月19日～25日の「地域ニュース番組 週刊地域トピックス」で放送予定で、YouTubeでも観られるそうです。



川の水質・生き物調査（6月4日）の活動報告

6月4日（日）、川の水質・生き物調査をしました。

参加者はこども14人、保護者6人、中嶋先生、スタッフ9人の合計30人でした。

川は前々日の大雨のため水量が多く、流れも速くなつて、砂による濁りも見られました。でも、パックテストのCODの値は昨年と同じ4で、ますます汚れの少ない状態でした。池や川の生き物観察は、みんなとても熱心。お昼休みの間もそれぞれ生き物探しをしていました。池では雨で流されてきたカワゲラやトビケラも見つかりましたが、メダカやイトトンボやシオカラトンボのヤゴカワニナなどいつものメンバーも健在。ヌマエビが少し少なかったかな。川でも流されたのか、カゲロウ類やブユがいつもより少ないようでしたが、サワガニは小さいサイズのものが去年より多く見つかりました。また、イシガケチョウが初めて見つかりました。

市役所に帰つて来てからは、生き物地図作りで、4班それぞれが特色のある生き物地図を作ってくれました。いつも盛りだくさんな6月の活動でしたが、最後まで元気よく活動できました。

これからの活動が楽しみです。



綿の植え付け（6月25日）活動報告

6月25日（日）、鹿背山の南地区駐車場脇で、綿の植え付け作業を行いました。

参加者はこども6人、保護者1人、スタッフ5人、事務局1人の合計13人でした。

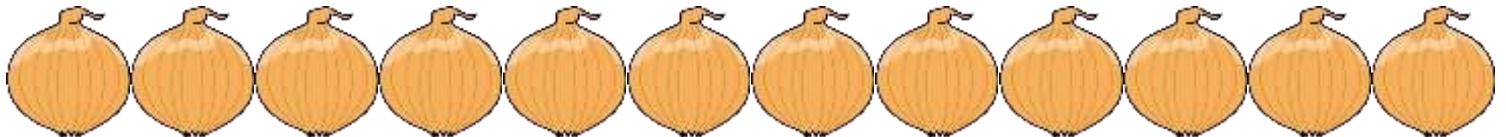
発足式で渡した種を各自で育ててもらいたい、当日集まった苗36本あまり（1ポットに間引かず2~3本育っているものもあるため）を4つの畝に植え付けていきました。

もともと畑地でないため大小たくさんの中がゴロゴロしていたので、石を外へ放りながら作業をしました。

せっかくなので、放り出した石を使って地面に「わた・エコクラブ」の文字を作りました。

荒地ですが、これからどれだけ綿が実るか楽しみです。





染色教室（8月6日）の活動報告

8/6(日)に木津保健センターで染色教室を行いました。参加者は子ども8人、保護者2人、サポーター4人、事務局2人の計16人でした。

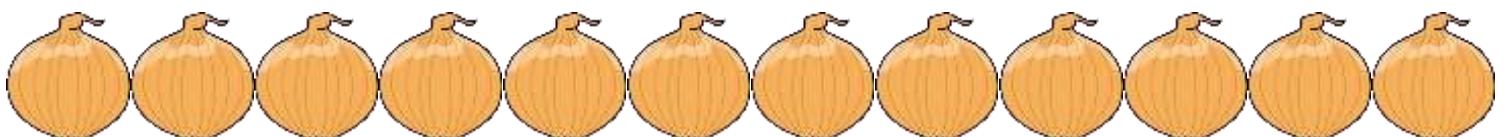
猛暑の中、田中先生の指導のもと、ゴミとして捨てられる玉ねぎの皮とコーヒーがらを使ってバナナを染めました。

今回は、たまたま沖縄から届いた福木（ふくぎ）の木の皮も使いました。（福木は沖縄では防風林など生活を守る木として植えられています。台風などで倒れると染めに使うそうです。）参加のお父さんお母さんも一緒に、真っ白なバナナ生地に割り箸や、輪ゴム、洗濯バサミ、ボタンなどを使って模様をつけ染めました。

今回は、初めて染める福木が大人気でした。毎回染めている玉ねぎや、身近なコーヒーがらは次回にできると思ったのかしら??

染液や媒染液につけた後、待ち時間には風呂敷の使い方を小澤さんから教えてもらいました。小さくたためて、色々な使い方ができる風呂敷。子どもたちは帽子にしたり、忍者風のマスクにしたりと、包む・運ぶだけでなくいろいろ楽しめることができました。

みんな無事に染め上がりとても素敵なお作品ができました。



「びわ湖とマイクロプラスチックについて考えよう！」

(9月17日) の活動報告

9/17(日)に「びわ湖とマイクロプラスチックについて考えよう！」で滋賀県大津市まで行つきました。参加者はこども11人、保護者2人、サポーター8人、事務局2人の計23人でした。

久しぶりのお出かけ企画で、海だけでなくびわ湖にもマイクロプラスチックがあるのか、大津で環境活動しているRキッズのこどもたちと一緒に調査しました。遊泳場の一見きれいな砂浜でゴミもあまり落ちていないところでしたが、砂をふるいにかけると水に浮く小さなプラスチックのかけらが見つかりました。

木戸市民センターで顕微鏡を使ってかけらをさらに観察したあと、滋賀県立大学のお兄さんたちからプラスチックのお話や被覆肥料のプラスチックカプセルの問題について話を伺いました。肥料のカプセルは想像していたより小さく、砂粒と見間違うくらいの大きさで水に浮くので、知らず知らず川や海へと広がっていくと考えられ、何とかしなくてはいけないなあと思いました。

午後からは、私設の小さな水族館「びわこベース」の見学。ナガレヒキガエルやシマヘビを触らせてもらったり、生き物愛にあふれた飼育員さんたちからお話してもらったりして楽しみました。朝渋滞に巻き込まれ、大津のこどもたちとの交流時間が少し減ったのは残念でしたが、充実した一日でした。



秋の里山活動体験（10月22日）の活動報告

10/22（日）に鹿背山で「秋の里山活動体験」を行いました。参加者はこども7人、保護者1人、ソーター3人、事務局3人、南谷管理組合の大門さんの計15人でした。

今回、秋の里山活動では久しぶりの野外調理を行いました。防災食体験で、耐熱性のポリ袋に米を入れて湯煎で作る「コーンバターご飯」と「キノコとサバの味噌煮缶のホイル焼き」に挑戦。水量をきちんと計ったり、目分量で材料を等分に分けたり、手早く作業を済ませたあと、調理が出来上がるまでの間には、斜面の落ち葉かき作業をしたり、薪割り体験をさせてもらったりしました。

ご飯はとてもおいしく、ホイル焼きは強火で少し炭になったのもあったけど、十分おいしかったです。午後からも火を囲んでマシュマロやリンゴを焼いて食べたり、かくれんぼしたり、秋の森を満喫していました。

最後に、春に植えた綿の収穫。荒れ土の上、夏の猛暑あまり背が伸びなかつたけれど、大きな実を紙袋いっぱい収穫できました。まだまだこれから実るものもあるので楽しみです。



木津川水辺のゴミ見つけ！（11月5日）の活動報告

11月5日（日）に木津川の清掃とごみ調査を行いました。参加者は子ども5人、保護者3人、サポーター1人、事務局2人の計11人でした。

「木津川を美しくする会木津川市支部」のみなさんと一緒に木津川グラウンド付近の河川敷でゴミ拾い。9月並みの暑さの中、みんな黙々と作業していました。今年は草刈りがされていたので、川原まで行くことができ、川岸に埋まった古いごみも掘ることができました。

1時間ほどで45Lのごみ袋32袋分集まりました。ペットボトルは相変わらず100本ごえ、カップ容器とレジ袋はほかのごみと混じって正確な数はわからなかつたけど、カップ容器は20個ほど、レジ袋は10枚ほどで、昨年までとあまり変わらない感じでした。



クリスマス工作（11月26日）の活動報告

11月26日（日）にイオンモール高の原でのエコフェスきづがわで、クリスマス工作を行いました。参加者は会員5人、一般の参加者15人、サポーター5人、事務局2人の計27人となりました。

工作は、アケビのつるやフェルトの輪を土台にリースづくり。エコクラブの畠で育てた綿の実や松ぼっくりなどの木の実、余った毛糸で作ったポンポン、以前から余っていたビーズなどを、思い思いにくっつけて個性豊かな作品を作っていました。こんな時、大人の余計な見本は全く不要。ふわふわの綿の側を接着面にしてがく側を表面にしたり、大人の固定概念の上を軽々飛び越えてくれます。大人の仕事は散らかった物のお片付けだけです。

その後、他のブースをまわってクイズに答えたり、標語の投票をしたり楽しんでいました。



アップサイクル工作（1月28日）の活動報告

1月28日（日）にアップサイクル工作を行いました。参加者はこども15人、保護者1人、センター5人、講師の李さん、事務局2人の計24人となりました。

講師は「アトリエくりむ」の李さん。9月のびわ湖でのマイクロプラスチック学習時に湖畔で拾ったプラごみ等と、11月の木津川での川ごみ調査で集めたペットボトルのラベルを使って、キーホルダーを作りました。

小さな木枠にレジンを流し、その中に小さくしたごみたちを思い思いに並べて、李さんが持って来てくれた鉱石もちょっと足してキラキラ素敵なキーホルダーができました。いろいろなものをおいぱい詰めてカラフルなもの、レインボーカラーにきれいに並べたもの、それぞれの個性が生きていました。できた作品を早速、カバンについているこどもたちも多かったです。

拾ったごみはまだまだあります。次は何に生かしましょうか。

工作の後に、2月17日（土）配信のエコチルのYouTube撮影を行いました。

相当時間がかかるかと心配していましたが、こどもたちはテキパキと撮影に参加、上手に発表してくれました。配信楽しみにしてくださいね。



冬の里山活動体験（2月18日）の活動報告

2月18日（日）に鹿背山で冬の里山活動体験を行いました。参加者はこども7人、保護者1人、サポーター3人、事務局3人の計14人となりました。

今回は、南谷の管理をしてくれている方々の都合がつかず、エコクラブメンバーだけでの野外調理となりました。ちょっとドキドキしながら、高校生サポーターを中心に火をおこし、無事調理の準備ができました。

今日のメニューは「びっくり鍋」。各自食べたい食材を持ち寄って、1つのお鍋に投入しました。集まった食材は、ごぼう、菊芋、かぼちゃ、白菜、水菜、ワインナーに厚揚げ、がんもどきなどなど、なかなかバラエティーに富んでいました。さらに、何年も前に菌打ちしたシイタケのほだ木を搜索しました。立派なシイタケも発見したのでこれもお鍋に投入。味付けは手作りみそ。なかなかいい味に仕上がりました。量も余すことなく食べることができました。その後は定番のマシュマロ焼き。火も無事落として、終了。

また、いつもの落ち葉かきをして、その落ち葉を綿畑に入れて土づくりもしました。



ふりかえりパーティー（3月23日）の活動報告

3月23日（土）にふりかえりパーティーを行いました。参加者はこども5人、保護者1人、サポーター9人、事務局2人、講師2人の計19人となりました。

まずは、今年の楽しかったことと来年したいことを書いてもらいました。楽しかったことは、やはりお茶づくりや野外での調理、食べることに人気が集まりました。来年したいことは、食べること、遠くへのお出かけに加え、星の観察などもありました。来年度の企画に少しでも反映できたらいいなと思います。また綿くり機を使って、来年度の綿の種も整えることができました。

その後は、この日のメインイベント、日本茶インストラクターの長谷川さん親子を講師に迎えての「お茶で遊ぼう！」教室。ほうじ茶、煎茶、深蒸し茶を飲み比べ、おいしい煎茶の入れ方を教えてもらいました。飲み終わったお茶の葉も薄焼きせんべいにのせて頂きました。これがとてもおいしくて、おかわり続出でした。ゆっくりお茶を楽しむ時間はとても良いものでした。

